

「みち再生事業」第1回検討会が開催されました

平成15年11月7日に高知市立潮江市民図書館で「みち再生事業」の整備計画案を策定する目的で第一回検討会が開催されました。

「みち再生事業」とは、県道桂浜はりまや線（通称棧橋通り）を中心とした潮江北部地区を対象として、安全で快適なまちづくりや交通事故の抑制を目指し、歩行空間のバリアフリー化などにより、沿道と一体となった親しみやすく使いやすい道へと再整備を図ろうとするものです。

今回の検討会では、沿線・地区の住民や学校関係者、道路管理者など30名程度の参加者で検討を行ないました。



・次回は平成15年12月17日（水）PM7：00～9：00 同じく潮江市民図書館で開催予定です。

みち再生検討会通信 vol.1

みち再生検討会通信の発行にあたり

昨年12月に発行されました『棧橋通りみち再生NEWS1号』に続いて、『みち再生検討会通信vol.1』を発行します。この通信は、検討会での内容を皆様に分かりやすくまとめた通信です。

『棧橋通りみち再生NEWS1号』では、“これまでの経緯”や“みち再生事業とは？”などが書かれていますので、本通信と合わせてお読み頂けるとより内容が理解できると思います。

第1回検討会の報告

みち再生事業 第1回検討会

平成15年11月7日(金)
午後7:00～7:30
高知市市民図書館3階 研修室

進 行 次 第

- | | |
|-------------|----------------------|
| 19:00～19:05 | 1. あいさつ |
| 19:05～19:20 | 2. メンバー自己紹介 |
| 19:20～19:30 | 3. みち再生事業の内容紹介 |
| 19:30～19:35 | 4. あんしん歩行エリアの取り組み |
| 19:35～19:40 | 5. 今後の事業の進め方(進行役の選任) |
| 19:40～20:00 | 6. 現況説明・課題点の整理 |
| 20:00～20:50 | 7. 全体討議 |
| 20:50～21:00 | 8. その他(次回の予定など) |

平成15年11月7日(金)に第1回検討会が開催されました。

検討会は、事務局からの挨拶で幕が開けられ、各メンバー紹介、みち再生事業の説明など概要説明が行われました。

また、この検討会を進めていく進行役の選任を行い、高知工業高校教諭溝渕先生にお願いすることになりました。



現況説明・課題点の整理

①上位計画

「高知市都市計画マスタープラン」

- ・マスタープランでは、エリア内は住居系・商業系・工業系に大別できる。

「高知市交通バリアフリー基本構想」

- ・バリアフリー構想では、本エリア内は対象地域となっていないが、その構想に準ずる対象地域とする。

②道路状況

- ・棧橋通りの幅員構成

潮江橋付近が6車線、棧橋通り5丁目は5車線、その他は4車線となっている。



③交通実態調査

1)自動車交通量

- ・ココス棧橋通り店から南側は概ね2～2.4万台/12h、北側は1.9万台/12hとなっており、南側より約2割少ない。
- ・12時間通して、ピーク時(渋滞時)はあまりない。

2)自転車歩行者交通量

- ・右側(県立体育館側)交通量と左側(高知工業側)交通量では、約1.8倍左側交通量が多い。
- ・ピーク時(8時、17時)の交通量は平均時の交通量の約2.5倍である。
- ・棧橋通り4丁目から5丁目の交通量は他の区間と比べ、極端に少ない。



自動車交通量



自転車・歩行者交通量

④住民のニーズ

- ・明るいイメージの歩道にしたい
- ・歩道と自転車道を分けて欲しい
- ・昼でも暗く、夜はもっと暗い
- ・水たまりのできない歩道にしたい
- ・歩道の凸凹がはげしい
- etc

全体討議の要旨

- ①利用者が左側歩道の通行を危険と感じている。
- ②クスノキが大きく成長すると景観を損ねるため、間引きをしてすっきりとした町並みになるようなまちづくりがしたい。
- ③商店街の活性化のため、駐車場・駐輪場の設置を考える必要がある。
- ④エリア内の機能整備だけではなく、“魅力”を見つけ出し、磨いていく必要がある。
- ⑤スラム街のように汚くて暗い。
- ⑥緑と町並みの調和のとれた整備が必要。
- ⑦学校が多い地域であるため、学生の通学(自転車)に重点をおいた整備を進めて欲しい。
- ⑧次回までに“棧橋通りの魅力”について考えてくること。

第1回検討会では、棧橋通りの現況及び課題点について説明を行い、自由に討議して頂きました。そして、第1回検討会では、棧橋通りの整備行うにあたっては“機能面の整備”だけでなく“魅力”を引き出すことが必要だという意見が出されました。

このことから、次回の検討会までに各自が『棧橋通りの“魅力”とは何か?』を考えてきて、魅力と機能面の整備計画(たたき台)について検討することとなりました。